

阪和工業株式会社 SDGs宣言



当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、積極的な取り組みを通じて、資源の有効活用と環境保全に貢献してまいります。

代表取締役 西本 英幸

当社のSDGsへの貢献

1. 再生亜鉛・塩化亜鉛の製造を通じ資源の有効利用に貢献する

- 亜鉛資源の有効利用を常に考え、亜鉛が含有されている物質から亜鉛製品を創造
- 再生亜鉛の供給および納品先より亜鉛含有資源を引き取り、再び再生亜鉛として供給するリンク性を構築することで、資源の有効利用を実現
- 塩化亜鉛についても含有資源を引き取り、再び塩化亜鉛溶液として製品化することで、資源の有効利用を実現
- 亜鉛の抽出技術を蓄積し、より良い品質と低コストを実現



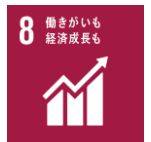
2. 環境負荷低減に貢献する

- 塩化亜鉛の製造工程において、鉄滓（てっさい：製造時に出る不純物）の排出量の抑制に努める
- 再生亜鉛の供給により、新規に亜鉛を鉱山より掘削、製造する際に必要なエネルギー等の削減に貢献
- 太陽光発電・電気フォークリフトの導入によるCO2排出量の抑制
- 集塵機・スクラバーを導入し、製造時の大気汚染を抑制



3. 従業員が安全かつ健康的に働きやすい職場づくり

- 改善提案や安全会議の実施により、安全で働きやすい職場を実現
- 資格取得支援などを通じ、従業員の能力向上を支援
- 高齢者など多様な人材が活躍できる会社を目指す



4. 地域・社会・取引先への貢献

- インドネシアにて塩化亜鉛溶液生産工場を稼働させ、現地雇用およびインドネシアへの技術やノウハウの提供を実施。またインドネシアの環境負荷軽減に貢献
- ISOの運用や継続的な技術研鑽などにより、付加価値の高い安定した品質の製品を取引先に安定的に供給
- 津波などの災害時に、本社を地域住民の避難場所として開放



SDGsとは・・・

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略であり、2015年9月に国連で採択された世界共通の目標です。2030年までに政府、企業、地域社会のあらゆる人がSDGsを実現するための役割を担っています。